



JACSES セミナー05

# 京都議定書と国際協力

## ～ 京都議定書発効と京都メカニズムのあり方を考える ～

地球温暖化防止のため、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの削減を義務づけた京都議定書が、アメリカの離脱などの課題を内包しつつも、2月16日に発効します。京都会議の議長国である日本は、議定書の目標達成とそのための方策実現がますます緊急の課題となります。

京都議定書では、各国の数値目標を達成するための仕組みとして、「京都メカニズム」(共同実施：JI、クリーン開発メカニズム：CDM、排出量取引)の活用が認められています。議定書の発効に伴って、日本では、国内対策強化のための施策検討が進む一方、京都メカニズムの活用検討も加速しています。政府で検討が進められている炭素税(地球温暖化防止のための環境税)の税収の一部は、京都メカニズム活用のための財源に充てることが検討されています。また、京都メカニズム活用のために、政府開発援助(ODA)資金の投入も検討されています。

本セミナーでは、京都メカニズムとは何か、政府の検討・取組はいかなる状況にあるのか、を確認しつつ、その課題と国際協力のあり方について、会場の皆さまと一緒に幅広く意見交換を行います。皆さまのご参加をお待ちしております。

### 【セミナープログラム(予定)】

#### <第1部：講演> 「途上国と地球温暖化問題、そして日本の役割」

明日香 壽川 氏(東北大学東北アジア研究センター教授)

#### 「京都メカニズムに関する政府の取組状況」

二宮 康司 氏(環境省地球環境局地球温暖化対策課)

#### <第2部：質疑・討論> 「京都メカニズムの課題/国際協力のあり方」

【日時】2005年2月23日(水)  
18:30～21:00

【会場】環境パートナーシップオフィス会議室  
東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山 B2F  
最寄駅：地下鉄表参道駅 B2 出口より徒歩5分  
JR 渋谷駅東口より徒歩10分

【参加費】1,000円(JACSES 賛助会員 500円)

【主催】「環境・持続社会」研究センター(JACSES)



### 【お申し込み】

「2月23日セミナー参加申込」明記の上、EメールもしくはFAXにてお申し込みください。

特定非営利活動法人「環境・持続社会」研究センター(JACSES) 担当：野口

東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル2階

電話：03-3447-9585 FAX：03-3447-9383 E-mail：jacses@jacses.org

本セミナーは、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて行われます。